

このメールマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された新着情報や産業保健情報を配信します。

=====

目 次

=====

1. 産業保健セミナー（3・4月の予定）のご案内
2. 2月のセミナー結果
3. 平成23年度の研修予定
4. その他関係機関の動き

=====

産業保健セミナー（3・4月の予定）のご案内

=====

3・4月分を掲載しますので、どうぞご参加ください。

（1）職場における救急体制（AEDの使用を含む）

開催日時 3月8日（火）13：30～16：30 （時間注意）
会 場 太田市社会教育総合センター 視聴覚室
講 師 太田市東部消防署 担当官
内 容 いつ、どこで、誰が突然の怪我や病気に襲われるか予測がつきません。職場も例外ではありません。救急車が来るまでの間に適切な応急措置が実施できるかどうかで生死を分けることもあります。緊急事態に備えて、心肺蘇生法、AEDの使用方法等の実習を行います。

（注意） 年度当初にお知らせした時間とは変わりました。ご注意ください
2月27日までに申し込みをしてください。
当日は、動きやすい服装、口紅は落として参加をお願いします。

（2）群馬県メンタルヘルスケア研修会

開催日時 3月10日（木）14：00～16：00
会 場 群馬県公社総合ビル
前橋市大渡町1-10-7（電話 027-231-5311）
内 容 ①講 演（14時から15時）
演題「職場のメンタルヘルスの実際」
講師 椎原康史相談員（メンタルヘルス担当）
②事例研究及び質疑応答（15時から16時）
座 長 真下 延男（当センター所長）
シンポジスト 椎原 康史相談員

嶋方 喜斌氏（カウンセリングルーム「雨上がり」）
長 由紀氏（㈱ミツバ）

対 象 産業医、衛生管理者、保健師、人事・労務担当等
主催団体 群馬県医師会、群馬労働基準協会連合会、当センターの共催
申し込み 群馬県医師会（027-231-5311）まで
（申し込み用紙はセンターにもありますのでご連絡ください）

（３）労働衛生のリスクアセスメントについて（産業医 生涯 専門 ２）

開催日時 ３月１７日（木）１５：００～１７：００
会 場 前橋テルサ けやき
講 師 柿沼 泰明 相談員（衛生工学担当）
内 容 一般にリスクアセスメントは安全対策のハード面を中心に行われているが、今回は健康障害防止のために化学物質のリスクアセスメント手法を解説し、事例を挙げて一緒に評価をします。またソフト面のリスクアセスメントについても、全員参加で考えてみようと思います。

（４）最近の「うつ」への対応 ～仕事の与え方、休ませ方、復職への配慮～

開催日時 ４月１５日（金）１４：００～１６：００
会 場 渋川中央公民館
講 師 嶋方 喜斌氏（カウンセリングルーム「雨上がり」主宰）
内 容 仕事の環境はますます厳しさが増す中で、最近のメンタル不調者への対応に苦勞している職場が増えています。「医者へ行って、薬を飲んで、ゆっくり休んでいなさい」という従来の対応の仕方では、長期化したり、回復が遅れる人が増えています。新しい適応の仕方を事例を通して考えます。

（５）産業保健概論（産業医 生涯 専門 ２）

開催日時 ４月２１日（木）１５：００～１７：００
会 場 前橋テルサ けやき
講 師 真下 延男（群馬産業保健推進センター所長）
内 容 未定

（６）メンタルヘルスとリワーク

開催日時 ４月２８日（木）１４：００～１６：００
会 場 太田市学習文化センター
講 師 柴田 信義 氏（柴田メンタルクリニック院長）
内 容 未定

２月のセミナー結果

（１）一緒に考える衛生管理者の職場巡視

２月３日、太田市社会教育センターで、柿沼泰明相談員（衛生工学担当）に講

師をお願いして実施しました。

健康状態の把握と健康障害防止の観点から、問題点を作業現場から教えてもらうためにどうしたらよいか？チェックポイントと事後措置の実施等について一緒に考えてみました。

参加者の方からは、「対話方式は面白い」「いろいろな会社の問題点を聞けて参考になった」等のご意見をいただきました。

(2) 栄養指導

2月9日、高崎市産業創造館において、講師に野口泰子先生をお招きして実施しました。

「保健指導を進める上での問題点」「保健指導のポイント」「効果的な指導を行うための準備」などについてのお話があり、保健指導の方法についてのグループワークもありました。参加者からは「具体的に分かりやすかった」「グループワーク・講義があって良かった」というご意見と共に「さらに具体的な栄養指導の知識についても聞きたい」というご意見もありました。

(3) 健康づくりのための運動指導

2月16日、財団法人東日本労働衛生センターさんの会場で、同センターの中山伸二氏にご指導をいただきました。

「日本人と運動習慣」「運動の必要性」「運動の仕方」等の説明の後、簡易体力測定を行いました。①筋力（握力）②筋持久力（上体起し）③俊捷性（全身反応時間）④平衡性（閉眼片足立ち）⑤柔軟性（体前屈測定）⑥瞬発力（垂直とび）「体力測定の流れが分かった」「従業員に展開できる」のご意見をいただきました。

(4) 過重労働と労災認定

2月17日、前橋テルサで、当センターの副所長が講師を勤めて実施しました。

脳・心臓疾患の労災認定基準の概要と具体例、そして過重労働による健康障害防止対策について説明しました。「過重労働の面接指導のやり方がわからなかったので、有益でした」とのご意見をいただいた反面、「会場が暗かった」「マイクが聞き取りにくかった」「駐車場がいっぱいだった」とのご意見もいただきました。

(5) 実地研修

2月22日、高崎市のFDKトワイセル㈱さんで実施しました。スタッフの方から、業務内容と安全衛生管理体制や職場巡視の方法、健康診断の実施結果や事後措置、ニッケル粉塵の取り扱いや騒音対策、メンタルヘルス対策、喫煙対策等について、詳細にご説明をいただき、現場での労働衛生の取り組みを見せていただきました。参加者からは、高齢者の体力低下に対する取組状況や長期休職者の復職に際しての関わり方についての質問が出されました。

また、参加者からは「工場内で実際の活動成果が見受けられたので参考としたい」「当社では行っていない内容を勉強させていただいた」「説明と工場内見学の時間配分が良かった」等のご意見をいただきました。

お忙しい中、資料の作成や、当日の駐車場へのご案内、説明そして工場内での丁寧な説明をしていただいたFDKトワイセル㈱さんの皆様、ありがとうございました。

(6) 突然死の予知が難しい現状を前にして

2月24日、当センターのセミナールームで、小野善平特別相談員に講師をお願いして実施しました。

「突然死」「長時間労働による影響」「健康診断結果の活用」「睡眠時無呼吸症候群」「突然死の一般的な危険因子」「突然死のリスクを減らすために」という内容のお話をいただきました。

参加者からは「具体的な説明で有益でした」「具体的でわかりやすかった」というご意見をいただきました。

(研修風景の写真は当センターホームページからご覧になれます。)

平成23年度研修のお知らせ

3月1日現在の平成23年度の研修計画です。

内容が未定のものもありますが、決まり次第ホームページに掲載します。

今年度の研修の特徴は次のとおりです。

- ①産業医を対象とした研修を実施します（日医の生涯単位を取得できます）
- ②研修テーマをより分かりやすく具体的にしました
- ③アンケート結果から希望の多かったテーマを中心に構成しました
- ④「リクエスト制度」を設けていますので、希望者が多ければ再度研修を実施します
(23年度は2回このリクエスト制度により計画しました)
- ⑤申し込みはいつでもできます

《産業医対象》

(D-1) 産業保健概論（生涯・専門・2）

日時 4月21日（木）15：00～17：00
会場 前橋テルサ
講師 真下延男（群馬産業保健推進センター 所長）
内容 未定

(D-2) メンタルヘルスにおいてカウンセリングにできること（生涯・専門・2）

日時 5月19日（木）15：00～17：00
会場 前橋テルサ
講師 鈴木浄美相談員（カウンセリング担当）
内容 職域において鍵となる「復職」を可能にするためには、様々なストレスに対処できる力が必要となる。通常業務が可能なレベルに回復するためのサポートとして医学治療的にプラスしてのカウンセリングの役割を事例をとおしてお話いたします。

(D-3) 最近の労働衛生関係法令の動向（生涯・更新・2）

日時 6月2日（木）15：00～17：00

会場 前橋テルサ
講師 群馬労働局衛生専門官
内容 最近の関係法令の改正や新しい通達等について分かりやすく説明します。

(D-4) 測定機器の取扱いと測定結果の見方 (生涯・実地・2)
日時 6月16日(木) 15:00~17:00
会場 前橋テルサ
講師 大澤武克相談員(衛生工学担当)
内容 作業環境管理は職場の状況把握が第一である。騒音や粉じん等比較的簡単に計測できる機器を使用しての測定実習と法定測定である「産業環境測定結果証明書」の内容を簡単に説明します。(特に悪い結果と改善の提案)

(D-5) 産業医の職務 (生涯・専門・2)
日時 7月21日(木) 15:00~17:00
会場 前橋テルサ
講師 月岡関夫相談員(産業医学担当)
内容 未定

(D-6) 保護具について (生涯・実地・2)
日時 8月18日(木) 15:00~17:00
会場 前橋テルサ
講師 大澤武克相談員(衛生工学担当)
内容 ヘルメットから安全靴まで「安全」に係る保護具は沢山ある。用途や安全性についての簡単な説明と、「衛生」に係る保護具、特にマスクについての説明と取り扱いについては実習も取り入れたい。

(D-7) 歯科保健から考える生活習慣病 (生涯・専門・2)
日時 9月29日(木) 15:00~17:00
会場 前橋テルサ
講師 山口達雄相談員(産業医学担当)
内容 事業場での歯科検診は重要です。「成人歯科検診」と「産業歯科検診」の違いと、産業歯科医による歯科検診を行わなければならない職場を職業性口腔疾患と共に説明します。また歯周病が全身に与える影響を解説します。

(D-8) 局所排気装置の見直し (生涯・専門・2)
日時 10月13日(木) 15:00~17:00
会場 前橋テルサ
講師 柿沼泰明相談員(衛生工学担当)
内容 粉じん、有機溶剤等化学物質を取り扱う職場では、作業環境改善のため局所排気装置が多用されていますが、設計・管理上の不備や使用方法の間違い等がよく見られます。不良な事例を参考に有効活用の方策を考えてみようと思います。

(D－9) 特定保健指導について（生涯・専門・2）

日時 11月24日（木）15：00～17：00
会場 前橋テルサ
講師 中村保子相談員（産業医学担当）
内容 特定検診、特定保健指導が実施されて4年が経過します。保健指導の効果についても検討が積み重ねられ、様々な角度からその有用性について検討されつつあります。特定保健指導のその後について、当院での検討も加えてお話させていただきます。

(D－10) 職場復帰と産業医（生涯・専門・2）

日時 12月15日（木）15：00～17：00
会場 前橋テルサ
講師 倉富雄四郎氏（富士重工業㈱専属産業医）
内容 メンタルヘルス対策において、産業医に対してその役割が特に期待されるものが、「三次予防」としての職場復帰支援でしょう。ガイドラインは示されているものの、その対応は極めて個別的であり。休業が長期化する事例が増加しています。実務上の問題点について考えて見たいと思います。

(D－11) 質問紙THIによるこころの健康チェック実演（生涯・実地・2）

日時 1月19日（木）15：00～17：00
会場 前橋テルサ
講師 鈴木庄亮氏（NPO国際エコヘルス研究会 代表）
内容 THIはTotal Health Index の略で、心の健康状況を知るために開発された質問紙です。質問は自覚症状や好みなどについて130の質問からできており、3選択肢に○をつけて回答します。回答をPCに入力して計算ソフトで処理し、目や皮膚、呼吸器などの症状の多少をはじめ、うつ傾向、心身症、心のストレス度などが定量的に図示され、これに基づいて健康アドバイスが打ち出されます。心の健康を12の側面について定量できます。日常の診療、定期健診やドックでの精神測定に最適です。

(D－12) 職場巡視（生涯・実地・2）

日時 2月16日（木）15：00～17：00
会場 ㈱IHIエアロスペース社（富岡市藤木900）
講師 太田圭子氏（同上 専属産業医）
内容 未定

(D－13) 職場における腰痛対策（生涯・専門・2）

日時 3月15日（木）15：00～17：00
会場 前橋テルサ
講師 藤田晴康相談員（産業医学担当）
内容 職場で発生する腰痛は頻度が高く、重労働でなくとも起こりうる。また整形外科・産業保健管理・社会心理など様々な領域がかかわる。複数の視点から対策を論じ、労災問題にも言及する。

《衛生管理者・労務担当者等対象》

(E-1) 「最近の「うつ」への対応」～仕事の与え方、休ませ方、復職の配慮～

日時 4月15日(金) 14:00～16:00
会場 渋川市中央公民館
講師 嶋方喜斌氏(カウンセリングルーム「雨上がり」主宰)
内容 仕事の環境はますます厳しさが増す中で、最近のメンタル不調者への対応に苦勞している職場が増えています。「医者へ行って、薬を飲んで、ゆっくり休んでいなさい」と言う従来の対応の仕方では、長期化したり、回復が遅れる人が増えています。新しい適応の仕方を、事例を通して考えます。

(E-2) メンタルヘルスとリワーク

日時 4月28日(木) 14:00～16:00
会場 太田市学習文化センター
講師 柴田信義氏(柴田メンタルクリニック 院長)
内容 未定

(E-3) 事務所における労働衛生管理

日時 5月12日(木) 14:00～16:00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 大澤武克相談員(衛生工学担当)
内容 一般的には事務所での有害業務は無いが、終日同じ場所にて座作業が多い為に、照明に関しての眼の疲労や、温湿度等々、配慮せねばならぬ事を出席者と共に考えながら快適職場の形成に役立つよう、講習とディスカッションを行います。

(E-4) 最近の労働衛生関係法令の動向

日時 5月26日(木) 14:00～16:00
会場 群馬県公社総合ビル
講師 群馬労働局 衛生専門官
内容 最近の関係法令の改正や新しい通達等について分かりやすく説明します。

(E-5) 局所排気装置の問題点

日時 5月27日(金) 14:00～16:00
会場 三洋電機㈱
講師 秋葉一好相談員(栃木産業保健推進センター衛生工学担当)
内容 局所排気装置の問題点

(E-6) 支援者自身のメンタルヘルス

日時 6月7日(火) 14:00～16:00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 松岡治子相談員
内容 他者を支援する支援者自身に生じる感情や認知について解説し、研修参加者の体験した事例を挙げて頂きながら検討したい。(昨年度開講した「産

業保健スタッフに生じる心理」と同じテーマです。看護職の方はできるだけ7月12日の研修にご参加をお願いいたします。)

(E-7) 最新の労働衛生事情を監督署長と現場の衛生管理者に聞く

日時 6月9日(木) 14:00~16:00
会場 太田市学習文化センター
講師 青山裕子氏(三洋電機㈱)
内容 未定

(E-8) 熱中症の予防

日時 6月21日(火) 14:00~16:00
会場 太田市学習文化センター
講師 中村保子相談員(産業医学担当)
内容 今夏の暑さはどうなるのでしょうか? 去年は記録的な暑さの夏でしたが、夏が来る前に今年の熱中症対策について考えて見ましょう。予防は日々の健康管理から生まれます。健康管理から職場環境管理までもう一度見直してみましょう。

(E-9) メンタルヘルスと企業の責任

日時 6月29日(水) 14:00~16:00
会場 群馬県公社総合ビル
講師 群馬労働局 安全衛生課・監督課担当者
内容 ①職場のこころの健康づくりの基本(なぜ、メンタルヘルス対策が必要なのか、どう対応したらよいのか、関係法令と「労働者の心の健康保持増進のための指針」を中心に判り易く説明します。)
②メンタルヘルスと社内規定(メンタル不調で休職する場合賃金は?いつまで休職できるのか?社長は解雇したいと言っているが?等、対応に困っていませんか。最低限知っておきたい法律の規定をお話します。)

(E-10) 質問紙THIによるこころの健康チェック実演

日時 7月5日(火) 14:00~16:00
会場 高崎市総合福祉センター
講師 鈴木庄亮氏(NPO国際エコヘルス研究会 代表)
内容 THIはトータル・ヘルス・インデックス の略です。心の健康状況を知るために開発された質問紙で、自覚症状や好みなどについて130の質問に○をつけて回答するものです。回答をPCに入力して、計算ソフトを使って、目や皮膚、呼吸器などの症状の多い少ないをはじめ、うつ傾向、神経質、心のストレス度などが定量的に図示し、これに基づいて健康アドバイスが打ち出されます。メンタルヘルス不調者の発見、気づきとセルフケアに有用です。

(E-11) メンタルヘルス不全者の早期発見・早期介入

日時 7月6日(水) 14:00~16:00
会場 群馬県公社総合ビル

講師 竹内一夫相談員（メンタルヘルス担当）
内容 メンタルヘルス不調者の早期発見・早期介入のための基礎知識のレビューを行う。仕事のストレスからメンタル不調に至るメカニズムとその評価方法、統計データの紹介、及び現場におけるうつ状態の見分け方などを中心にアウトラインを解説します。

（E－12）メンタルヘルス対策の基本とモラルハラスメント対策について

日時 7月11日（月）14：00～16：00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 羽鳥裕明相談員（メンタルヘルス担当）
内容 主に言葉や態度によって、巧妙に人の心を傷つける精神的な暴力であるモラルハラスメントが職場においてのストレスの原因になっているケースが増えています。外傷等が残るため顕在化しやすい肉体的な暴力と違い、言葉や態度等によって行われる精神的な暴力は見えづらいため長い間潜在化していることもあります。無視などの態度や人格を傷つけるような言葉などの精神的な嫌がらせや迷惑行為は、働く人の人格や尊厳を傷つけたり、精神的に傷を負わせてその人間が職場を辞めざるを得ない状況に追い込んだり、職場の雰囲気悪化させたりします。この研修ではメンタルヘルス対策の基本をもう一度学びなおすと共に、モラルハラスメントについての基礎と対策について学んでいきます。

（E－13）職場の喫煙対策と禁煙支援

日時 7月26日（火）14：00～16：00
会場 太田市学習文化センター
講師 倉富雄四郎氏（富士重工業㈱専属産業医）
内容 職場における受動喫煙対策は、かつての「快適職場形成」という考え方ではなく、「労働者の健康障害防止」という観点で取り組むことが求められる時代になりました。世界的には日本のタバコ規制が最も甘いことも指摘されています。今後の展望について考えてみたいと思います。

（E－14）メンタルヘルス不全者の家族への対応

日時 8月19日（金）14：00～16：00
会場 群馬県公社総合ビル
講師 渡辺俊之相談員（メンタルヘルス担当）
内容 うつ病、不安障害、認知症などメンタルに問題のある労働者を抱えた家族は、さまざまな否定的感情（不安、落胆、怒り、悲しみなど）を持つ。しかし、家族はメンタルヘルス不全者をケアするため、そうした感情を抑えて「対応」していかなければならない。援助者は家族のケア能力を高めるために、家族の苦悩に耳を傾け、家族に病気やケアの情報を提供する必要があるだろう。

（E－15）最新の労働衛生事情を監督署長と現場の衛生管理者に聞く

日時 8月23日（火）14：00～16：00
会場 高崎市総合福祉センター

講師 籠谷晋行氏（三益半導体工業㈱衛生管理者）
内容 未定

（E－16）メンタルヘルス不調者への対応（その１）

日時 8月25日（木）14：00～16：00
会場 太田市学習文化センター
講師 鈴木浄美相談員（メンタルヘルス担当）
内容 多くの職場で対応に苦慮されているメンタルヘルス不調者の対応、復職支援について具体的なケースを取り上げてお話いたします。

（E－17）実地研修

日時 9月6日（火）14：00～16：00
会場 サンデン株式会社
講師 同上スタッフ
内容 未定

（E－18）治りづらい現代型うつ病

日時 9月9日（金）14：00～16：00
会場 三洋電機㈱
講師 渡辺俊之相談員（メンタルヘルス担当）
内容 未定（22年度衛生管理者協議会総会での講演内容を基に）

（E－19）有機溶剤と粉じん管理について

日時 9月13日（火）14：00～16：00
会場 太田市学習文化センター
講師 大澤武克相談員（衛生工学担当）
内容 どこにでもある溶剤の取り扱いに関する注意事項、粉じん取り扱い作業者のじん肺発症の増加対策について解説、測定用貸出し機器の取り扱いについても説明を行います。

（E－20）職場の消化器疾患

日時 9月14日（水）14：00～16：00
会場 高崎市総合福祉センター
講師 田中義相談員（産業医学担当）
内容 未定

（E－21）こんな通達知っていますか？（健康診断について）

日時 9月16日（金）14：00～16：00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 関口光男相談員（労働関係法令担当）
内容 有機溶剤取扱者等の特殊健康診断については、労働安全衛生法に基づく特別規則で定められていますが、これら以外にいわゆる「通達に基づく特殊健康診断」が示されています。どのようなものがあるでしょう。根拠条文は労働安全衛生法第66条第2項にあるのです。

(E-22) 管理者に求められるラインケアとセルフケア

日時 9月27日(火) 14:00~16:00

会場 群馬県公社総合ビル

講師 松岡治子相談員(メンタルヘルス担当)

内容 管理者はラインケアの役割を持つ支援者であるとともに、管理者自身も労働者であり、メンタルヘルスに関するセルフケアが重要である。自分の性格傾向やストレス度等を知るための質問紙を用いて、自分自身への気づきを高めつつ、ラインケアとセルフケアについて考える機会としたい。

(E-23) 新型インフルエンザ対策

日時 10月6日(木) 14:00~16:00

会場 群馬県公社総合ビル

講師 藤田晴康相談員(産業医学担当)

内容 (新型)インフルエンザに対するこれまでの対策を振り返り、評価と反省を行いながら、今後の新たな流行に備える工夫を考察する。(なお、流行の状況によって内容が変わります。)

(E-24) 「今なぜ、コミュニケーションなのか」

～問われるコミュニケーション能力～

日時 10月11日(火) 14:00~16:00

会場 太田市学習文化センター

講師 嶋方喜斌氏(カウンセリングルーム「雨上がり」主宰)

内容 グローバルな時代に則した多彩な人材が求められる中で、社員のコミュニケーション能力が、企業の緊急課題になっています。今問題になっている「パワハラ」も「こころの病」もこのコミュニケーション能力の問題でもあります。事例を通して考えます。

(E-25) メンタルヘルス不全者の休職と職場復帰

日時 10月20日(木) 14:00~16:00

会場 群馬県公社総合ビル

講師 椎原康史相談員(メンタルヘルス担当)

内容 メンタル疾患での休職と職場復帰について、部下への安全配慮義務、専門医への受診と休養のすすめ、療養中および復職前後の対応、復職支援はなぜ必要か? うつ状態にある人への接し方などを具体的に解説します。

(E-26) 非正規労働者の健康管理

日時 10月25日(火) 14:00~16:00

会場 群馬産産業保健推進センター

講師 倉富雄四郎氏(富士重工業㈱専属産業医)

内容 雇用形態が多様化し、職場にはさまざまな立場の非正規労働者が働いています。事業主の安全配慮義務という観点では、三管理全般について管理責任の所在がどこにあるのかを確認しておくことが重要です。今回は健康管理について考えて見たいと思います。

(E-27) 健康診断の事後措置

日時 11月10日(木) 14:00~16:00
会場 高崎市総合福祉センター
講師 月岡関夫相談員(産業医学担当)
内容 未定

(E-28) 人の「こころ」を理解するための心理学

日時 11月14日(月) 14:00~16:00
会場 高崎市総合福祉センター
講師 羽鳥裕明相談員(メンタルヘルス担当)
内容 カウンセリング技法の基礎を学んだことがあっても、実際の現場ではなかなか活かしきれないということもあります。なぜならば実際の現場においては学んだことの基本どおりにカウンセリングが進むとは限らないからです。人間の「こころ」が理解できていなければ相手に共感することもできませんし、臨機応変に対応することもできません。この研修では、傾聴だけではなくもう一步踏み込んだカウンセリングのやり方やそのための人間心理の分析方法などについて、カウンセリングのデモンストレーションを通して学んでいくと共に、これまで数多くの人々の悩みに接してきた経験に基づいてお話させていただきます。

(E-29) メンタルヘルス不調者の事例検討

日時 11月16日(水) 14:00~16:00
会場 群馬県公社総合ビル
講師 森 弘文相談員
内容 自己実現の欲求と、中年期の心理的危機を中心にして、メンタルヘルスの不調とその掘りかきを考えていく内容です。その後続く老年期のメンタルヘルスについても視野に含めます。

(E-30) 最新の労働衛生事情を監督署長と現場の衛生管理者に聞く

日時 12月14日(水) 14:00~16:00
会場 渋川市中央公民館
講師 林 恵子 氏(パナソニック電工群馬(株)健康管理室)
内容 定期健康診断・特殊健康診断の準備とフォローについて及び各種労働衛生教育のポイントと評価についてを中心として、衛生管理者の職務と一緒に確認してみませんか?

(E-31) 腰痛にならないために

日時 1月18日(水) 14:00~16:00
会場 高崎市総合福祉センター
講師 大澤武克相談員(衛生工学担当)
内容 職業性疾病の7割は腰痛が占める。重量物取り扱い以外にも発生している。注意事項の羅列でなく、参加者の意見を踏まえて、皆で討議します。
一講師も腰痛もち一

(E-32) メンタルヘルス不調者への対応 (その2)

日時 1月26日(木) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 鈴木浄美相談員(メンタルヘルス担当)
内容 その1(8月25日)と同様。ケースを変えてお話いたします。その1の参加者の方も、その2のみの方も参考となる内容です。

(E-33) 支援者のメンタルヘルスに関する事例検討

日時 1月31日(火) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 松岡治子相談員(メンタルヘルス担当)
内容 他者を支援する過程において生じる支援者自身の感情や認知に焦点を当てた事例検討を行う。研修参加者の体験した事例を具体的に挙げて頂き、少人数のグループで検討し、内容を深めたい。

(E-34) 実地研修

日時 2月10日(金) 14:00~16:00
会場 日本カーリット(株)
講師 同上スタッフ
内容 未定

(E-35) 有害業務と関係法令

日時 2月14日(火) 14:00~16:00
会場 太田市学習文化センター
講師 関口光男相談員(労働関係法令担当)
内容 芳香族炭化水素系溶剤は多岐にわたりますが、一般に使用される頻度の高い「有機溶剤」は「有機溶剤中毒予防規則」で、製造、取り扱いに係る基準が示されています。(設備・換気、管理基準、測定基準、健康診断手技、保護具の使用、貯蔵・空容器処理等)労働安全衛生法施行令別表第6の2に定める有機溶剤についてお話します。

(E-36) うつ病関係の最近の話題

日時 2月23日(木) 14:00~16:00
会場 太田市学習文化センター
講師 大澤 誠 氏(大井戸診療所 院長)
内容 未定

(E-37) 衛生管理者が行う職場の健康づくり

日時 2月29日(水) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 佐藤由美相談員(保健指導担当)
内容 22年度は、職場で健康づくりに取り組む意義と、衛生管理者が中心となって生活習慣病予防に職場ぐるみで取り組んでいる実践例を紹介した。23年度は、さらに、従業員が主体で活動している取り組み例、保健所等地

域の機関と協働している取り組みなどを紹介し、身近なところ、できるところから始める職場の健康づくりの方法を伝える。

(E-38) 最新の労働衛生事情を監督署長と現場の衛生管理者に聞く

日時 未定 (1月から3月)
会場 群馬産業保健推進センター
講師 未定 (前橋又は伊勢崎の衛生管理者に依頼中)
内容 未定

《保健師・看護師対象》

(N-1) カウンセリング (初級)

日時 5月18日 (水) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 大小原利信 (㈱ラポール企画代表)
内容 未定

(N-2) カウンセリング (初級)

日時 6月15日 (水) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 浅野良雄相談員 (カウンセリング担当)
内容 メンタルヘルスに関する相談では、カウンセリングの理論や技法を知っておくと、相談内容に対する理解が深まり、紹介先の選択にも役立ちます。行動療法、ゲシュタルト療法、イメージ療法、フォーカシング、解決志向ブリフセラピーなどを、事例を通して分かりやすく解説します。

(N-3) 看護職自身のメンタルヘルス

日時 7月12日 (火) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 松岡治子相談員 (メンタルヘルス担当)
内容 メンタルヘルスを支援する中では、看護者自身にも様々な感情や認知が生じる。他者を支援する看護者自身に生じる心理について解説し、研修参加者の体験した事例を挙げて頂き、特に看護者自身の感情や認知に焦点を当てて検討したい。

(N-4) カウンセリング (初級) 「認知行動療法」

日時 7月27日 (水) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 嶋方喜斌氏 (カウンセリングルーム「雨上がり」主宰)
内容 「人間のストレスは、出来事や事柄そのものに起因するのではなく、その出来事や事柄に対する考え方、受け止め方によるのです。」 今、心の病への対応は「認知行動療法」世界的な常識となっています。その中の「認知療法」を、事例を使って分かりやすく解説します。

(N－5) 健診データのまとめ方と活用（その4）

日時 8月4日（木）14：00～16：00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 藤田晴康相談員（産業医学担当）
内容 一般的な表計算ソフトを用いて健診データを効率的にまとめるコツと結果報告の要点を解説する。初心者のために前回までの基礎的復習を行いながら、やや上級の手法（マクロ）の案内も行う。

(N－6) カウンセリング（中級）

日時 9月7日（水）13：30～16：30（時間注意）
会場 群馬産業保健推進センター
講師 大小原利信（㈱ラポール企画代表）
内容 未定

(N－7) 腰痛対策としての骨粗しょう症

日時 9月8日（木）13：00～15：00（時間注意）
会場 群馬産業保健推進センター
講師 中村保子相談員（産業医学担当）
内容 腰痛は製造業だけでなく、どの職種においても大きな問題になっています。近年骨粗しょう症治療は、新しい治療薬の開発により早期からの介入治療に焦点が集まっています。最近の治療法や職場改善へのサポートなど話してみたいと思います。

(N－8) カウンセリング（中級）

日時 10月5日（水）13：30～16：30（時間注意）
会場 群馬産業保健推進センター
講師 浅野良雄相談員（カウンセリング担当）
内容 相談業務における対話では、カウンセリングで使われる「傾聴」や「共感」の技法が役立ちます。しかし、これらは、知識として知っているだけでは不十分です。セミナーでは講師が考案した「確認型応答」という具体的なスキルを中心に、相談における対話のコツを実習します。

(N－9) 効果的な特定保健指導の展開

日時 10月26日（水）14：00～16：00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 佐藤由美相談員（保健指導担当）
内容 特定健診・保健指導は平成20年度の制度導入から3年間の実施を経て、平成24年度には第1期の実施計画評価・見直しを行わなければならない。これまでの実績についての全国レベルの実態調査や各自治体、企業等での研究報告も出されているため、それらを概観しながら、健診受診率向上、保健指導利用率・終了率向上、保健指導による生活習慣改善率向上等に関わる要因や効果的な取り組みの工夫を紹介する。

(N-10) カウンセリング（中級）「認知行動療法」～事例研究～

日時 11月9日（水）13：30～16：30（時間注意）
会場 群馬産業保健推進センター
講師 嶋方喜斌氏（カウンセリングルーム「雨上がり」主宰）
内容 ストレスを受けやすい人の思考パターンや思考傾向、「自動思考」や「認知の歪み」とはなにか。その気づきによる修正はどうすればいいのか。自分自身のストレス耐性を高めると共に、こころを病む人への寄り添い方を、事例に取り組みながら考えます。

(N-11) 職場における救急体制（AED等）

日時 12月6日（火）13：30～16：30（時間注意）
会場 高崎市総合福祉センター
講師 消防署
内容 いつ、どこで、誰が突然の怪我や病気に襲われるか予測が付きません。職場も例外ではありません。救急車が来るまでの間に適切な応急措置が実施できるかどうかで生死を分けることもあります。緊急事態に備えて、心肺蘇生法、AEDの使用方法等の実習を行います。

(N-12) 栄養指導

日時 2月3日（金）14：00～16：00
会場 群馬産業保健推進センター
講師 笠原賀子氏（群馬県栄養士会 副会長）
内容 未定

(N-13) 運動指導

日時 2月17日（金）14：00～16：00
会場 財団法人東日本労働衛生センター
講師 中山伸二氏（上記センター理事）
内容 未定

その他関係機関の動き

* 平成22年度「自殺対策強化月間」について（内閣府）

例年3月は自殺者の数が最も多いためこの月を「自殺対策強化月間」と定めています。下記のホームページで詳細がご覧になれます。

<http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/index.html>

* 平成23年度産業保健実践講習会について（産業医学振興財団）

開催日程は次のとおりです。

4月20日（日） 名古屋会場
4月29日（金） 福岡会場
5月15日（日） 大阪会場
5月29日（日） 横浜会場

6月19日（日） 岡山会場

6月26日（日） 東京会場

詳細は下のホームページでご覧になれます。

<http://www.zsisz.or.jp/lectureclass/jissen.html>

- * 「平成23年有害物ばく露作業報告対象物質について」が公示されました

(厚生労働省 再掲)

平成23年において有害性ばく露作業報告の対象となるものが公示され、23年1月1日から12月31日の間に製造又は取り扱った場合は24年1月1日から3月31日までの間に監督署へ報告する必要があります。

下記のホームページから詳細をご覧になれます。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/070409-1.html>

- * 「インジウム・スズ酸化物取扱い作業による健康防止対策に関する技術指針」が定められました（厚生労働省 再掲）

下のホームページをご覧ください。

<http://www.jaish.gr.jp/horei/hor1-51/hor1-51-47-1-2.pdf>

=====
関東地方には「春一番」が吹き、もうすぐ春でしょうか。

いつの間にか3月になり、今月から来月にかけては、卒業式・入学式・入社式・人事異動など何かと気ぜわしい季節です。

23年度の研修計画に思いのほか時間を取られてしまいましたが、もう一息、桜が咲くまでがんばりましょう。

=====
<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

sanpo10@gummasanpo.jp
=====

《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966